

「クラシノコアゲ応援団 2017 街頭行動」 第 15 弾

弱者の視点を大事に、弱者をつくらない社会を！

～福島復興・創生へ一丸となろう！～

連合福島は、この程 7 月 6 日（木）16 時 30 分～、福島駅前中合ツイン広場にて、クラシノコアゲ応援団街頭キャンペーン第 15 弾行動を実施した。

冒頭、応援団長の今泉裕連合福島会長から「今春闘も厳しい労使交渉を積み重ね一定の結果が出揃った。月齢賃金平均では昨年を下回り、一時金も加味すると格差は広がっている。また、初任給など入口賃金がアップの動きを見せており、企業が優秀な人材を受け入



街頭行動も 15 回目、挨拶する今泉裕連合福島会長



連帯の挨拶をいただいた、民進党福島県連代表代行金子恵美衆議院議員（左）、社民党福島県連代表紺野長人福島県議会議員



れたい、定着させたいとの意思を感じる。過日の都議選結果に象徴されるように、どんなに力があっても、どんなに大きな勢力でも、浄化作用がなく慢心やごりのエラーが続けば、やはり民意の審判は厳しいものとなることは道理。これは政党に限らず、私たちを含めあらゆる組織や団体も同様だと認識する。社会が目まぐるしい変革の時代にあり、第 4 次産業革命といわれる人工知能等の進化が著しい。流れの速さに取り残されない対応が求められる。連合福島は、やはり弱者

の視点を大事にする、働く弱者をつくらない、さらに、格差社会の問題、地方創生の問題、福島復興・風評・風化への対応、との一念で皆さんと共に歩んで参りたい。是非、運動の共有をお願いしたい。」との内容を通じ、熱く訴えかけた。

そして、毎回継続して連帯している民進党福島県連から代表代行の金子恵美衆議院議員、社民党福島県連代表の紺野長人福島県議会議員に挨拶をいただいた。



市民の皆さんにティッシュを配り PR

さらに、主催 2 団体からの課題提起ということで、県労福協・佐久間通事務局長より奨学金制度の拡充・強化を求めるアピールを、続いて連合福島・加藤光一事務局長からは福島県最低賃金の課題と引き上げを求めるアピールを行い、共有を求めた。

尚、街頭では連合福島役員約 20 名がチラシ入りのティッシュ 1,500 個を配り、世論喚起した。



「奨学金制度拡充」と「最低賃金引き上げ」を求めてアピールする、福島県労福協佐久間通事務局長（左）と連合福島加藤光一事務局長

県労福協・佐久間通事務局長より奨学金制度の拡充・強化を求めるアピールを、続いて連合福島・加藤光一事務局長からは福島県最低賃金の課題と引き上げを求めるアピールを行い、共有を求めた。

尚、街頭では連合福島役員約 20 名がチラシ入りのティッシュ 1,500 個を配り、世論喚起した。